

四、貸付金制度ノ設立  
三、労働人協同組合ノ實設

二、労働人協同組合ノ組織

一、自由主義イテ不干涉主義ニ基キ労働協約台近ノ勵行實設

◎ 注 記

ニ

ニテハ本邦主張イニテ主キ田村新入出ハシメ主張々各文節ニ並  
シテハ本邦ハ二日十。十一兩日ニ並リ協約台近ノ勵行實設

日本労働協同組合連合会

労働協約台近ノ勵行實設

大正十二年四月二十日

労働協約台近ノ勵行實設

労働協約台近ノ勵行實設

労働協約台近ノ勵行實設

五、失業疾病災害養老保険ノ制定實施

六、労働省ノ設立

七、治安維持法<sup>及</sup>暴力行爲取締法ノ撤廢

八、労働争議調停法ノ改正

九、國際労働總會ニ於ケル條約案及勸告案ノ批判實施促進

一〇、官營工場抑下反對

一一、官營工場ニ於ケル労働條件ノ統一

一、解雇手当ヲ左ノ如ク制定支給スルコト

(イ) 勤続一年未滿ノ者日給五十日分

(ロ) 一年以上五年未滿ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ四日分ヲ増ス

(ハ) 五年以上十年未滿ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ五日分ヲ増ス

(ニ) 十年以上二十年未滿ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ本書第六日分ヲ増ス

(ホ) 二十年以上ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ八日分ヲ増ス